



平成 29 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 大和工業株式会社
 代表者 取締役社長 小林 幹生
 (コード番号 5444)
 問合せ先責任者 常務取締役 吉田 隆文
 (TEL 079-273-1061)

第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 7 月 31 日に公表しました平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同日に公表しました平成 30 年 3 月期通期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	83,000	4,000	8,500	4,500	67.28
実績値(B)	84,315	4,506	10,624	6,475	96.82
増減額(B-A)	1,315	506	2,124	1,975	
増減率(%)	1.6	12.7	25.0	43.9	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	71,954	6,901	12,772	7,138	106.73

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	160,000	8,000	17,000	8,500	127.08
今回修正予想(B)	170,000	8,000	17,000	9,000	134.56
増減額(B-A)	10,000	0	0	500	
増減率(%)	6.3	0.0	0.0	5.9	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	142,136	10,739	21,519	11,319	169.24

3. 差異および修正の理由

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、前回公表の連結業績予想に比べ、売上高、営業利益、経常利益のいずれも予想値を上回る結果となりました。なお、前回公表時点での平成 29 年 9 月末の想定レートに比べ、為替レートが円安に動いたことから、当社が保有する外貨建資産(関係会社貸付金等)の評価替えにおいて、為替差益(営業外収益)を計上したことが、経常利益の増益要因となっております。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益では、上記に加え、米国の持分法適用関連会社、ニューコア・ヤマト・スチールカンパニーにおける高付加価値 H 形鋼製造のための QST (Quenching and Self-Tempering) 設備投資について、アーカンソー州からの設備投資減税の認定により、当第2四半期に米国子会社で法人税等還付税額 528 百万円 (税金費用のマイナス) を計上したことが増益の要因となっております。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績と各社の今後の見通しを踏まえ、前回公表 (平成 29 年 7 月 31 日公表) の予想数値を見直した結果、スクラップ高に伴う製品価格改定により、売上高を 170,000 百万円 (前回予想比 10,000 百万円増)、営業利益を 8,000 百万円 (前回予想据え置き)、経常利益を 17,000 百万円 (前回予想据え置き)、親会社株主に帰属する当期純利益を 9,000 百万円 (前回予想比 500 百万円増) とそれぞれ修正いたします。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上